

平成24年1月28日(土) 月星会創立20周年記念式典・祝賀会 グリーンタワー幕張

INDEX

| | |
|----------------|-----|
| 月星会創立20周年 | 1～2 |
| 臼井日出男氏特別寄稿 | 2 |
| 会員企業訪問・樹プラント東葉 | 3 |
| ミニ研修会/例会報告 | 4 |
| スケジュール | 4 |



ご来賓を代表して元月星会顧問の井草隆雄様のご挨拶



山本実行委員長



加藤会長



臼井先生



阿佐直前会長



歴代会長の表彰→

ご多忙中を駆けつけご挨拶を頂いた来賓の方々



井草隆雄様



石井準一参議院議員



猪口邦子参議院議員



門山宏哲1区支部長



小林鷹之2区支部長



YEG長谷川会長



阿部統一県議



臼井正一県議



小川啓之市議会議長

20周年式典、89名参加で盛大に！

「月星会創立20周年記念式典・祝賀会」が、去る1月28日グリーンタワー幕張に於いて盛大に開催された。

記念式典の冒頭では物故者への黙祷が捧げられ、厳粛なスタートとなった。

初めに山本康昭実行委員長の挨拶、加藤隆会長の挨拶と続き、臼井先生より祝辞を頂戴した。ご来賓挨拶では、参議院議員の猪口邦子、石井準一両先生よりご挨拶を頂き、最後に会の元顧問・井草隆雄様よりグローバルな見地からの今後の日本の展望を交えてご挨拶頂いた。

式典の締めくくりには歴代会長の山本康昭氏、千葉英隆氏、藤原勝己氏、岩田代三氏、阿佐幸雄氏の5氏に壇上に上がって頂き、花束と記念品が贈呈された。

記念式典から祝賀会に移ると気分も一転いつもの明るいムードに。まずは阿佐直前会長の乾杯のご発声。「おめでとうございます！」で乾杯。恒例の誕生月の花束贈呈では総勢12名の該当者が。何故か1月生まれが多い月星会。

フランス料理のフルコースを楽しむ間も与えず「月星会20年の歩み」のDVD上映。会の草創から今日に至るまでの流れを約30分にまとめ上げた。広報委員会の内藤太氏を中

心にユーモアに富んだ月星会らしい楽しいDVD。スクリーンの正面に座った臼井先生も懐かしそうに見入っていたのが印象的だった。

DVDが終わり、食後のコーヒーを飲む間もなく、今度はオールディーズのバンド演奏。司会の志村美知子さんの紹介で「ハップハザード」の演奏が始まる。志村さんの発案でテーブルごとにパーティーグッズで仮装した面々が現れ、何とも楽しい雰囲気。そして一曲目から一人二人とステージ前で踊りだす。ツイストなのかモンキーなのか、ロカビリーなのか、阿波踊りなのか、もう訳が分からないが元気な紳士淑女が手を取りあって踊り出す。特に淑女の皆さんは元気一杯！しかし後半になると激しい曲はもうダメとゆったり踊れる曲をリクエスト。すると、チークタイムさながらにピンスポットを浴びながら踊る場面も。ビートルズを始め、誰もが耳にしたことがある懐かしのオールディーズの名曲。あなたは何曲口ずさみましたか？

アルコールも入り、アンコールも入って大幅に時間を越えたものの、月星会らしい賑やかな祝賀会だった。

最後に穴倉副会長の閉会の言葉・謝辞。体調が万全でない中参加してくれたOBの皆さんへ感謝の気持ちを強く表され、改めて20年間の歴史、会員同士の繋がりを感ぜさせてくれた。

会員数や行事参加者の減少が危惧される中、総勢89名の参加という近年稀にみる大勢の参加。これも月星会20年の「絆」だろう。20年の重さを感じるとともに30周年に向けて新たな「絆」を構築していくことがこれからの月星会の使命だと思われる。山本実行委員長のもと、実行委員だけでなく会全体でまとまったこの式典、祝賀会はまさにそのスタートに相応しい行事だったのではないだろうか。(文責：木下 英之)



特別寄稿

新しい時代のスタートの年に！

前衆議院議員 白井日出男

新たなステージに立つ

東日本大震災からやがて一年を迎えようとしている。私は「いま日本は昭和20年の敗戦による68年に及ぶ“戦後”と言う時代から“東日本大震災後”という新しいステージに立っている」と認識しています。

戦後68年間、我が国は多くの事態を乗り切ってきた。特に二度にわたる“オイルショック”や“バブルの崩壊”というショックを経験したし、6千人以上の死者を出した“阪神・淡路大震災”という災害も経験したが、しかしいずれの時も、時代が変わったという認識は持たなかった。しかし今回の東日本大震災では、いままでに経験したことのない大きなショックを受けました。この災害で日本国民は極めて大きな衝撃を受けました。それは津波による2万6千人をこえる死者の発生という惨事の大きさもさることながら、福島原発事故によって、戦後から今日に至るまで経済発展を最優先し、繁栄を追求してきた日本が、大きな時代変革の刻を迎えている。いま我々に問われているのは「国民の幸福追求はどうあるべきか」という課題です。これから我々日本人は“戦後”という時代から、“東日本大震災後”という時

代を生き、厳しい国難とも言うべき時代を切り開いていく覚悟が必要です。国の政治もそうした認識の下で、対処していく必要があります。

“口先政治”からの脱却を！

平成21年の衆議院総選挙の結果、与党自民党が大敗し、民主党政権が成立したが、いま国民は“美味しいことを麗々しく並べて有権者の歓心を買ひ、政権を奪った「口先政権成立」に力を貸したこと”を強く反省しているはずだ。

選挙時にマニフェストで約束した公約がな一つ守られていないことをはじめ、鳩山由紀夫、菅直人という民主党を代表して“公言”を繰り返してきたトップの体たらくも驚きだが、私が民主党政権にノーを突きつけるのは、もっと根本的な問題。つまり“民主党という政党が「政党の綱領」を持たない、持てない”という根本的な問題が諸悪の根元なのです。つまり民主党という、どのような政治理念で日本をどのような方向に向かわせようとしているのかが判らない政党に大切な日本を任せたことが誤りなのです。民主党政権が公約したことをしないで、約束もしていないことをしようとしていることも全てこの根本的な課題から発している。

本年半ばには、衆議院総選挙が行われることになるだろうが、有権者たる国民はこの根本的な問題をしっかりと見極めて“前回の総選挙で甘言に騙された怒り”をブツケるべきです。

第8回 (株)プラント東葉

自由化で競争厳しくも、笑顔で勝負!

顧客の選択肢のために十数社の保険を扱う

強みは“空気”の温かさ

保険の代理店を営む(株)プラント東葉の小野成子さんは、人とのつき合いをとて大切にしている人である。参加している経営者団体も多く、どの会でも行事の出席率が高い。月星会もその一つで、例会はもとより親睦旅行や研修会などほとんどの行事で小野さんの姿が見られる。

時間の余裕があって来ているわけではない。扱っている保険会社は十数社だから、むしろ「超」を付けてもいいくらい忙しいのである。

1982年2月に事務所を立ち上げてから今年で30年。30年も続けられた理由は何かと聞いてみると、間髪を入れず答えが返ってきた。

「保険の仕事を通して、いろいろな人に知り合えることです。普通はなかなかお会いできないような人にもお会いできますし、長くお付き合いいただいている。このことは何物にも代えがたい仕事の魅力です」

こう話す小野さんの表情に自然な笑顔が浮かぶ。

小野さんの笑顔には、人なつっこさがある。人と会って話をしていること、それ自体がとても嬉しいようだ。

小野さんを交えて話をしていると、その場の空気がすぐに和んでくる。温かな空気が流れてくる。

保険のおお客様と話をしているときもきっと同じ空気が流れるのだろう。

保険は“安心”を買う商品である。損害保険にせよ、生命保険にせよ、小野さんが保険商品の中身をていねいに説明すると、お客様の心にだんだん安心感が生まれてくるのではないだろうか。

決して意図して安心感を押しつけているわけではなく、その場の空気に安心感が流れてくるのであろう。

自然体で、お客様のことを一生懸命に考えながら数ある保険商品の中から最適な商品をお勧めする。無理をせず、しかし自信を持ってお勧めする。そんな営業スタイルが小野さんの笑顔から垣間見ることができる。

保険代理店の経営は年々厳しくなっている。自由化によって競争が激しくなり、一方では保険金不払い問題などによって保険に対する人々の信頼感が薄れてきた面があるからだ。

この逆風の中でプラント東葉は30年間、お客様の逆風を受けることもなく、契約件数を少しずつ積み上げながら淡々と続けてきた。この実績の多くは、小野さんの人柄によるところが大きいといえるだろう。

勲章もある。小野さんは、MDRT (Million Dollar Round Table = 訳すと「100万ドル円卓会議」)。世界の生命保険・金融サービスの専門職が集まる独立組織で、入会



には卓越した商品知識と信頼に足る人格を要する)の世界大会に7年連続で招聘されているのである。これは、いわば「世界が認めた保険のプロフェッショナル」の勲章にほかならない。

「女性は無理」の声もどこ吹く風で…

30年前、小野さんは大正海上火災保険(現・三井住友海上火災保険)の女性実習生募集に応募して損害保険の世界に入った。たまたまパートである保険代理店の仕事を手伝ったのがきっかけで、それまでは普通の主婦だった。

女性実習生というのは、大正海上の専属代理店候補者のことで女性を募集したのは保険会社で初めてのことだった。

ところが、応募したのは小野さんだけ。たった一人の女性実習生になったのである。

当時、生保会社は女性の城のようなところだったが、損保会社は逆に男性オンリーの世界だった。実習生として入ったときにも周りから「女性にできる仕事じゃないよ」と言われ続けたが、小野さん自身はそんな周囲の声を気にすることもなく、第1号女性実習生の誇りを持って突っ走った。

淡々としているようでも、実は強い向上心に裏打ちされた突破力を持っているのだ。

実習期間の9カ月間、その突破力で好成績を上げ、めでたく代理店として認められた。成績は、男性実習生のトップと同じ数字だったという。

当初は、他の男性代理店と同じように、支店内の事務所にデスクを置いて営業を開始したが、「これじゃ友だちが気軽に訪ねて来られない」という動機で、近くに小さな事務所を借りて完全独立を果たした。このときも、男性陣から「経費もかかるし、うまくいかないよ」とバカ呼ばわりされたが、どこ吹く風で思いを貫いた。この突破力は、近年の自由化と世評の荒波の中でも生きてくる。

プラント東葉は現在、外資系も含めて十数社に及ぶ保険会社の商品を扱っているが、当然のこと保険会社からは“専属”を要求される。が、小野さんは平然と言う。

「ケンカ腰ですよ。でも、お客様のことを考えたらたくさんのお客様の保険商品を扱っているほうがいいに決まっています。お客様の事情に合わせて本当に最適の商品をご提案できますから」

今は、徐々に業務を長男に譲っているが、小野さんの人生からこの仕事なくなることはないだろう。

(取材・文/奥平。次回は小野社長の紹介でリトルハウス(株)武田峰子さんを予定しています)

ミニ研修会

平成23年11月30日 千葉市生涯学習センター

第一回ミニ研修会が生涯学習センターに於いて20名の参加により開催された。講師に千葉市総務局市長公室危機管理担当参事・初芝泰雄氏をお迎えしました。



東日本大震災の被害・復旧状況等についての資料をご用意頂き、パワーポイントを使用してお大變解り易い形で始めました。

全体被害と主な対応状況、応急復旧・震災廃棄物の収集・処理、復旧状況、市内被災者の支援、企業への支援、市外被災地への支援、義援金、原発事故に伴う放射性物質への対応等々、東日本大震災の教訓と課題を大變解り易く、千葉市でとられている現状を交えて講演頂いた。

今後の対策については国・県の動向を踏まえて地域防災計画の見直しスケジュールに従って行われる予定との事。防災直後の情報伝達は今後の工夫が必要であり、千葉市の場合内湾の為大型の津波の心配が少なく避難する時間も多めにあるのでできるだけ高台への避難がお勧めで、必ずしも避難所への避難が重要ではなく各家庭の状況に応じた判断が求められる。今後の防災の際に市民レベルでできる事を学ぶことができた、大變有意義な研修会でした。

(文責：産方 恒好)



会員異動

退会

小野洋子氏 (有) ディアデム 理由私事

役職変更

千葉康隆氏 千葉産業(株) 取締役常務→専務取締役

定例朝食会報告

第2金曜日 午後7時開会 ホテルグリーン・タワー幕張

12月例会は望年会も兼ねて弁当ではなく、コース料理、お酒ありで行いました。

通常の委員会報告などをして、後は講演、アトラクション等をせずに歓談をメインにしましたが、和気藹々とした雰囲気のみなさん楽しめているようでした。



2月例会は今年度最後の夜例会でした。講師には元月星会会員の井草隆雄先生にお願いし、「北朝鮮の動向を中心に空洞化する日本産業の将来」をテーマにお話しして頂きました。講演の中では金日成の政権から金正日の政権の間で数多くの有名人が北朝鮮と関係を持っていた話もあり、みなさん聞き入っていました。

また、北朝鮮はこのまま続くのか?という質問にも丁寧にお応え頂きましたが、40分という短い時間のため、十分お話しただくことが出来ず、また次回に続きをお願いして終了となりました。

恒例となっている山本相談役の美術鑑賞の壺も現在開かれている「フェルメールからのラブレター展」を紹介して頂きました。

来月より朝食例会となります。3月は第2土曜日の10日午前7時開会6時30分受付となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

(阿佐一郎例会委員長)

3月・4月・5月のスケジュール

| | | |
|---------|----------|--|
| 3/10(土) | 定例朝食会 | 7:00開会 参加費 2,000円 会場：ホテルグリーンタワー幕張 |
| 3/14(水) | 役員会 | 18:30開会 会場：プラザ菜の花 |
| 3/17(土) | 被災地研修ツアー | 集合 7:00 NTT前(JR千葉駅) 参加費：3,000円 ビジター：5,500円 福島県いわき市スパリゾートハワイアンズ |
| 4/11(水) | 役員会 | 18:30開会 会場：プラザ菜の花 |
| 4/14(土) | 定例朝食会 | 7:00開会 参加費 2,000円 会場：ホテルグリーンタワー幕張 |
| 5/9(水) | 役員会 | 18:30開会 会場：プラザ菜の花 |
| 5/12(土) | 定例朝食会 | 7:00開会 参加費 2,000円 会場：ホテルグリーンタワー幕張 |

編集後記

今年最初の会報をお届けします。といっても広報委員会は新年早々、20周年式典に向けた記念冊子やDVDの制作に忙殺されたためか、“今年初”という感じはしません。制作物については、内藤委員がフルパワーの奮闘で活躍してくれました。頭が下がります。もちろん、山本委員長をはじめ実行委員方々の熱意あふれる準備にも大いに感謝したいと思います。木下さんのレポートにもあるように、皆さまのおかげで記念式典は大變盛り上がり、存分に楽しむことができました。ありがとうございました。

さて、今号は年頭に当たって、臼井先生に国政についての寄稿をお願いしました。日本が新しいステージに立っているのご指摘は、共通認識できるところだと思います。その上で、誰に、どこに、新しい日本の未来を託するのか、一人ひとりが自らの頭で考えるとともに、月星会の仲間と真摯な意見交換をしていきたいですね。お酒を飲みながらでも…。本音で議論できるのが月星会の良いところだと思います。

(産方)